

議会広報広聴委員会記録

令和元年11月5日（火）
午前10時27分～10時49分
議会第1委員会室

- 【出席者】小川委員長、川上副委員長、
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、
田畑委員、澁谷委員
【事務局】篠原次長、近重書記
-

議題

- 1 議会報告会（地域井戸端会）について……………資料1
 - (1) 参加人数について
 - (2) アンケートについて
 - (3) 地域井戸端会にかかるご意見及び要望について
 - (4) 各会場報告書について
 - (5) その他
- 2 申し送り事項について……………資料2
- 3 その他

次回委員会 開催予定日：令和元年11月11日（月）

【議事の経過】

[午前 10時27分 開議]

小川委員長

ただいまより議会広報広聴委員会を開催します。先月行った井戸端会では皆さまのご協力により、無事に成功し終わることができましたこと感謝申し上げます。

恐らくこのメンバーでの委員会はこれが最後になるのではないかと思います。この2年間本当にお世話になりました。では委員会を進めてまいります。

今日は主には地域井戸端会の中身の振り返りと、申し送り事項についてです。

1. 議会報告会（地域井戸端会）について

- (1) 参加人数について
- (2) アンケートについて
- (3) 地域井戸端会にかかるご意見及び要望について
- (4) 各会場報告書について
- (5) その他

小川委員長

事務局から報告をお願いします。

近重書記

(以下、資料をもとに説明)

小川委員長

資料に基づいて説明いただきましたが、何かお気づきの点等がありましたらご意見を頂戴します。

西川委員

議員全員にアンケートを配って、何人返ってきましたか。

近重書記

6人です。

西川委員

24分の6ですね。

近重書記

聞き方が細かすぎるのかなという反省が。

西川委員

参加者側からの、特にネガティブなご意見についてピックアップできるのがあれば。

三浦委員

近重書記から先ほど「気づきが少ない」と指摘されましたよね。この数値が下がっているのは弥栄なのです。弥栄の参加者の3分の2、60、70パーセントくらいは「気づきはなかった」と答えています。これどうも、弥栄会場の方に聞くと、風力発電の反対について意思を表明したいという方がかなり多く来られたとのことだったので、要は言いたいことを決めて来られている方は、他の方のお話を聞くより言いたい気持ちの方が強いのかなと。そうすると、他の方の話も聞くような場所設定になっているので、気づき等よりも自分のことが言いたかったとか、そういうことが読み取れる

のかなと。その割合がかなり大きいので、そうすると全体で合算するとどうしても割合が低くなる。それを除くと比較的気づきがあったとなるのは、そういう時間を取れば色々な方の意見を聞けるような設定の成果は出ているのかなと思います。久佐会場の時も、終わってからちょっと言いたいことがあると手を挙げられる方がいらっしゃったので、どのテーマでも拾い上げられるように、一応区切ってはいますがそれ以外にも言いたい方が、ある一定数はおられたりするのかなと思いました。

近重書記

おっしゃるとおり、こちらの設計意図とは違うモチベーションで臨まれているのは弥栄だったと思います。

三浦委員

美川は開催前から、学校統合について言いたい人が結構来られるかということも佐々木議員からもうかがっていて、ちょうど佐々木議員が地元というのもあり、テーブルをつくって関心が高かったのでテーブルをもう作っていたのです。臨機応変に対応したという例です。前段で想定しながら、こういう時はこうしようという準備をこちら側もしておく、こういった所の数値はある程度改善されるかなと思いました。

田畑委員

特に美川公民館の場合は三浦委員が言われたように、学校統合の答申が出た後に、教育委員会は美川小・第四中校区で説明会を2回もやっている。それを知らないのはそこに行った議会側です。佐々木議員以外の議員はほとんど知らない状況で。小規模校を選択して三階小学校校区から引っ越してきた親御さんの言い分、地元の人々の言い分、そのとおりになる・ならないは別として、聞く耳を持つためのある程度の下知識がないとまずい気がしました。統合審議会が出した答えについてどうこう言うつもりはないですが、こういう井戸端会が良いのか、何が良いのかは別として、地域住民の声は聞いてあげないといけないなど。

久佐公民館でも、私はこれが言いたいとテーマにないものを言う人もおられるので、そこに行く議員はオールラウンドプレイヤーのような形で広く浅く構えておかないとまずい気がしました。何が出るか分からない。

小川委員長

気づきの部分は分かりやすいご指摘をしていただいたので、より分かりやすかったのが良かったのですが。

風力発電の関係等、もし事前にそういう方が来られるのが分かっていたら、美川でやったようにグループを1つ作るのも良かったかもしれませんが、こればかりは議会の中でも見解が色々違うので、その方々が気づきがあったと思える場にするのはなかなか難しかったかもしれません。

議員アンケートでも出されていたように、今後どういう形態が良いのかも含めて、次回以降の形については新たな委員会の中で練っていただく、

その材料にしていいただければと思います。

他にご意見等ございませんか。

芦谷委員

弥栄へ行きました。私の地域の班で福祉に対する反対意見が出ました。その他にも交通問題や買い物問題、体験村の問題も出ました。必ずしも風力発電だけではなく、村全体の振興を考える意見は幅広くと思っています。

近重書記

各班の班長さんにお渡しして、最後に上がってきたものを載せていますので。提供はさせていただきます。

小川委員長

井戸端会の関係については、以上でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ありがとうございました。

2. 申し送り事項について

小川委員長

今まで議論し検討してきた部分が中心ですので、こちらも事務局から報告いただいて、補足があればしていきたいと思います。よろしく願います。

近重書記

(以下、資料をもとに説明)

小川委員長

申し送り事項の関係はこういう形でまとめてもらいましたが、だいたいこの内容を次回の委員会に申し送るということでよろしいですか。何か抜けていることがありますか。

三浦委員

議会だよりの仕様の検討についての中にカラー化があるのですが、2年間活動させていただく中で、編集を受託している業者との役割分担がやはりはっきり出来てないままに。2年間だいぶできたと思うのですが、デザインをきちんとある程度までしてもらおうとか、その辺り、予算の中で何にどれくらい使うのか仕様を決めて委託するという契約が必要なのではないかと思うのですが。多分あちらもどこまでやるのかは決まっていなくて、これやらないといけないのか、これお願いして良いのか、というお互いの関係が、結局紙面編集をやりにくくしているのではないかと思うので、そこは役割分担をきちんとしていただくことを是非お願いしたいです。

芦谷委員

是非市の広報との関連もあるので、発注スペックをしっかりと突き合わせして、業者の良い所を生かす発注をしないと。何か互いにもたれあいである感じがしています。市の広報と調整してください。

近重書記

おっしゃっているのは広報はまだのことですよね、広報はまだはほとんど市長公室で全てやって、印刷だけ発注をかけています。なので相手方には多分デザイン等はお任せしてなかった、全て市長公室で編集されたものが行っていると伺っています。もう1回確認しておきますが。昔はデザイ

芦谷委員

ンされていたようなのですが、やはり予算減額等色々あったので。

議会だよりについても、この議会広報広聴委員会でもどこまでやって、業者がどこまでするのか線引きをはっきりさせた方が良いからね。

小川委員長

業者もサービスでやってもらっているのかという所もあったりして。

三浦委員

そういう所もあると思います。

小川委員長

こちらから要望するのは無理なお願いなのかとか、色々あったし。その辺も検討しようとしたのだけど、もうサマーレビューが終わったような時期だったのかな、来年度予算には間に合わないだろうという話もあったので。やるならそれまでにいくらかこちらで案を練って、仕様も含めて固めた方が良くないかと思うのだけど。仕様についての検討にはそういう意味も含めて理解してもらおうということで、次に申し送りできればと思います。この中の何人かは次の委員会も参加されると思いますので、引き続き検討をお願いできればと思います。

他には良いですか。なければ申し送り事項については、この案を正式に次期委員会にお願いしたいと思います。

3. その他

小川委員長

1件、懸案事項があったのでお願いします。

近重書記

1点報告させていただきます。9月6日の委員会において芦谷委員から提案がありました、市長部局への陳情が出た時の対応についてですが、あの時の話では正副委員長と議長団で協議をしてみようということでしたので、その報告をさせていただきます。

結果としては要請文はなしにして、事務局と市長公室とで調整して定期的に上がっている陳情についての情報提供をいただく形で良いのではないかと、というお話でした。イメージとしては定例会議ごとに市長公室に照会をかけて情報提供をいただくということで、調整させていただければと思いますがいかがでしょうか。補足があれば正副委員長からお願いします。

小川委員長

正副委員長で議長団と意見交換しました。事務局が言われたように、書面で申入れするといった硬いものでなくても、議長団を通じて責任をもって市長へ出された陳情をこちらにも通知して欲しいという内容で話をすれば、それで済むのではということでしたので、それはそれで。定例会議ごとに年4回程度になるのか、その辺りはお任せしながら情報提供を得れば良いのではないかとということです。ただ要請文の中にありました、例えば市長に陳情が出された場合にも市議会に対しても出す方法があります、ということについて、案内したり説明したりといった段取りまでこちらがす

る必要はないのでは、という判断があった関係で、それは情報提供を受けた方が配慮なり対応をしていただければ良いかなということ。そのようなことでよろしいですかね。

小川委員長

ということで、ご理解いただければと思います。芦谷委員よろしいですか。

芦谷委員

議会側としてしっかり広聴機能を発揮するという意味で良いですから、結構です。

小川委員長

その他、皆さんからございますか。

(「なし」という声あり)

ないようでしたら、以上をもって最後の広報広聴委員会を終了させていただきます。お疲れさまでした、ありがとうございました。

[午前 10時49分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏